

創成Dハードウェア 受講レポート

2020年 1月 20日

中部大学

学籍番号：EP18009 氏名：伊藤和真

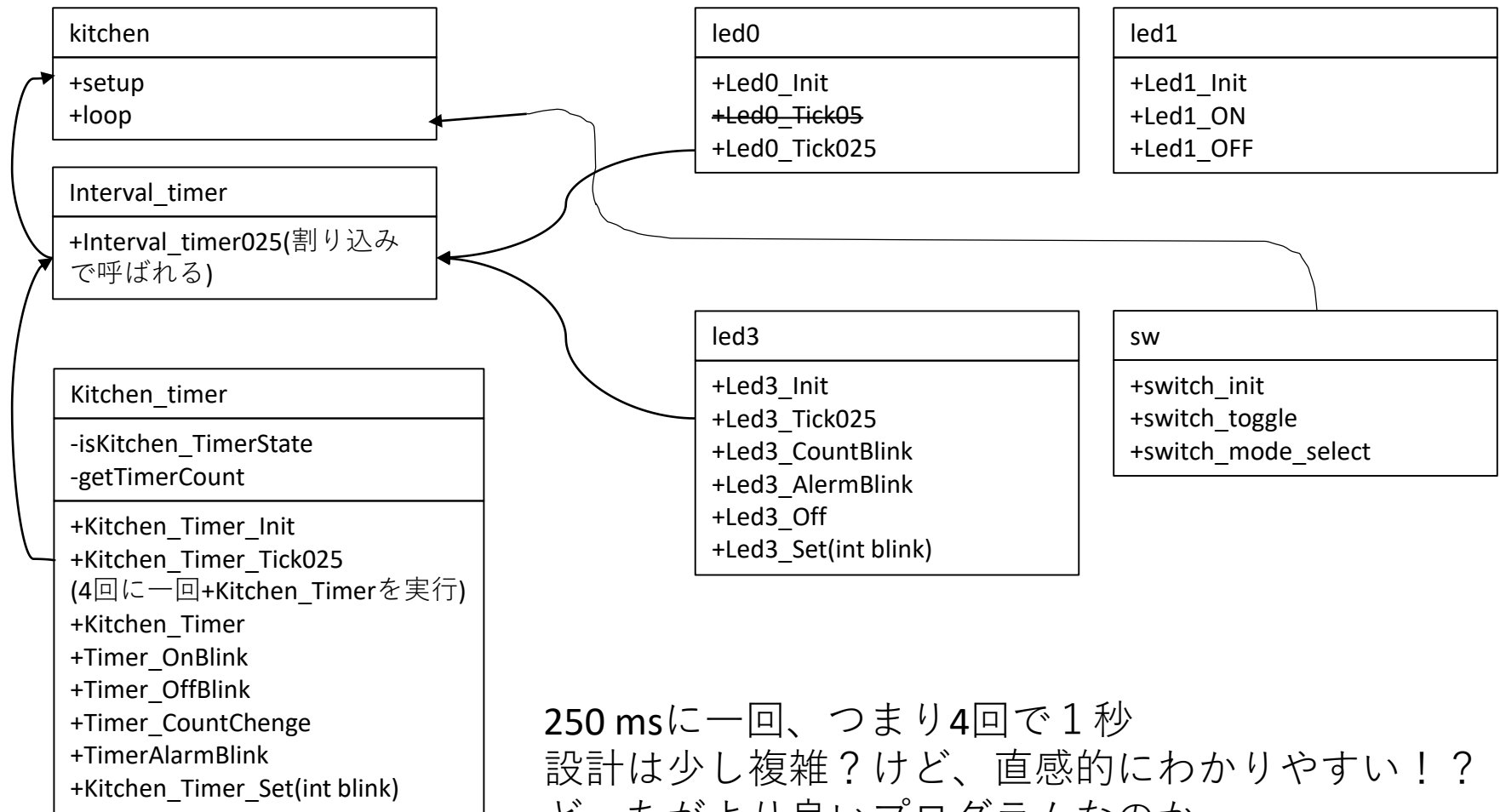
キッチンタイマの技術的工夫点

- できるだけ処理を分解してパーツ化した
- 250 ms間隔の割り込みで設計をした
- パーツを使う際にパーツの振る舞いを気にしない！

キッチンタイマの技術的反省点

- ヘッダーを作り忘れていた
- 人間にわかりやすく設計したせいで多少構造が複雑化してしまった
- 保守性の低い部分をいくつか作ってしまった
- 先生！提出したあとに偶数奇数判定のテクニック教えないでよ！

キッチンタイマの技術的工夫点



250 msに一回、つまり4回で1秒
設計は少し複雑？けど、直感的にわかりやすい！？
どっちがより良いプログラムなのか...

追加課題（取り組んだ人のみ）

- テーマ

デジタルサイネージ

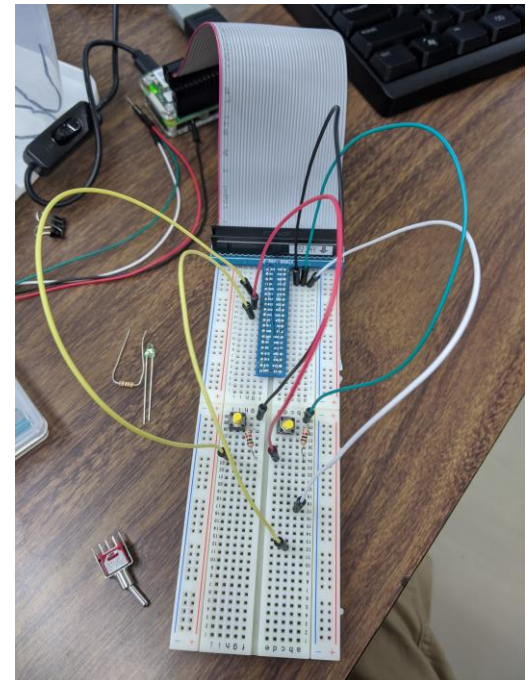
デジタルサイネージ（英: Digital Signage = 電子看板）とは、表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどによって映像や文字を表示する情報・広告媒体である。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

- 結果

ボタンによって複数の動画の表示を切り替えられるものをつくれた

（ボタンにはトグルボタンと決定ボタンがあります）



受講の所感

- 感想

組込プログラムは初めてだったが、なんとなく組込プログラムというものがどういうものかを理解できたので良かった。

- 組込プログラム

ソフトウェアとハードウェアはなかなか直結させるのは難しく、ハードウェアの物理的性質にかなり悩ませられる。

逆に言えば極めれば無敵のエンジニアになれる可能性があるかもしれない！